

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画やモニタリングを行う視点が介助者からの視点に比重が置かれた、介護計画等になってしまっている。	本人のニーズ抽出にもっと重点を置くとともに、家族様のご要望もしっかりお伺いし、利用者様一人ひとり個性的な介護計画を作成する。	普段の面会時に、家族様とのコミュニケーションを密にして、家族様の希望を汲みとるとともに、定期的にカンファレンスを開催して介護計画に反映していく。	6ヶ月
2	1	法人理念の浸透が不十分で、実際のケアに繋がっていない。	理念の浸透を深め、そしてそこから具体的にケアに繋げていけるようにしていく。また、法人理念から発展させ、事業所としての介護理念も発案していく。	定期的に行われる法人理念の研修だけでなく、事業所においても定期的に理念の勉強会を開催して具体的なケアに繋げていく。	6ヶ月
3	35	災害対策において、地域との連携があまりとれておらず、実際の災害を想定した訓練対策等が不十分である。	地域との連携を図りながら、施設内での災害対策・訓練だけでなく、地域の日稔訓練にもできるだけ参加協力を行っていく。	区政主催の防災訓練に参加したり、地域の消防団と情報交換しながら、いざ災害となった場合に連携が取れるように努めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。